

30日開催 16:00~17:30

講演会 (4Fホール)

演題／

# 東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事の記録

講師／鹿島建設(株) 上浪鉄郎氏



## 歴史的建造物と 最先端建築技術の融合

1914年(大正3年)に創建された東京駅丸の内駅舎は、辰野金吾により設計され、その堂々たる姿で、多くの人々に愛されてきました。しかし、1945年(昭和20年)、戦災により南北のドームと屋根・内装を焼失。戦後、3階建ての駅舎を2階建てで駅舎に復興し、現在の姿になりました。

この度の「保存・復原工事」では、外観を創建時の姿に忠実に再現するのはもちろんのこと、さらに、未来へ継承するため、鉄骨煉瓦造の下に地下躯体を新設し、機能拡大の工事を実施。そして、巨大地震にも耐えうる建築とするため、「免震工法」で施工し2012年10月完成した記録を紹介します。



上浪鉄郎(うえなみ・てつろう)  
プロフィール

1960年大阪生まれ。神戸大学環境計画学科卒業。91年鹿島建設入社。

臨海副都心出張所、第一建築営業所、2000年建築技術本部技術開発担当課長、2002年東京支店生産計画部入手企画課長を経て、2004年東京駅八重洲口開発計画南棟(グラントウキョウサウスタワー)新築工事事務所次長、2007年東京駅丸の内駅舎保存・復原工事事務所副所長として現場の実戦部隊を率いて来た。

現在は二子玉川再開発Ⅱa街区新築工事事務所副所長として16万㎡の難工事に従事している。



主催／(一社)徳島県建築士事務所協会

共催／(公社)徳島県建築士会、(一社)日本建築学会四国支部徳島支所、(公社)日本建築家協会四国支部徳島地域会